

3年生指導計画 ちいちゃんのかげおくり

次	時	ねらい	学習活動	評価規準	指導、援助
第1次学習の見通しを持つ	1	全文の範読を聞き、初発の感想を持つことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちいちゃんのかげおくり」の範読を聞く。 ・時代背景について話し合う。 ・初発の感想を書き、交流する。 ・ 	関：題名とリード文から「ちいちゃん」の人物像や「かげおくり」について想像しようとしている。(観察・ノート)	<ul style="list-style-type: none"> ・今から60年前のころを舞台にした物語であることを知らせる。 ・漢字、難語句などすぐ調べられるようにする。
	2	時、場の設定、登場人物をつかむことができる	<ul style="list-style-type: none"> ・時、場の設定、人物、語句などをたしかめながら読む。 ・三つの「かげおくり」をとらえる ・心に残った言葉や文にサイドラインを引き感じたことを書き込む。 	関：詳しく読みたいところや疑問に思うことなどを見つけている。(書き込み、発言)	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵を掲示し、場面を捉える手がかりとする。 ・一行空きのところに着目させる。
	3	場面毎に叙述から感じた事を交流し、学習の計画を立てることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・場面毎にサイドラインの場所と感じたことを交流する。 ・場面毎の読みの課題と学習活動について計画を立てる。 	関：進んで自分の感想を表現したり、読みの課題を考えようとしていたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・カードに書かせ、黒板にはりながら発表させる。
第2次場面の様子を想像し	4	第1場面のかげおくりの様子を音読や叙述からつかみ、人物の気持ちを想像することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1場面を音読する。 ・言葉や文から場面の様子を考える。 ・会話文の前後の言葉に着目して、人物の気持ちを想像する。 ・読みとったことが表れるように音読する。 	読：会話や動作を表す言葉などをもとに、場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら読んでいる。(発言・ノート)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習で学んできた読みとりの手がかりを示す。 ・役割を分担してみんなでかげおくりの場面を読む。
	5	第2場面でのちいちゃんの置かれた状況や心情を想像することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・第2場面を音読する。 ・言葉や文から場面の様子を考える。 ・会話文の前後の言葉に着目して、人物の気持ちを想像する。 ・読みとったことが表れるように音読する。 	読：会話や動作を表す言葉などをもとに、場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら読んでいる。(発言・ノート)	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵の色にも着目させる。 ・空襲など戦争に関わる言葉について補説する。 ・ダッシュが意味するものを考えさせる。 ・言葉を置き換えて感じの違いをくらべる(さげふ、

ながら読む	6	第3場面でのちいちゃんの置かれた状況や心情を想像することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・第3場面を音読する。 ・言葉や文から場面の様子を考える。 ・会話文の前後の言葉に着目して、人物の気持ちを想像する。 ・読みとったことが表れるように音読する。 	<p>読：会話や動作を表す言葉などをもとに、場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら読んでいます。(発言・ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・くもった朝、暗い夜 青い空など明るさを表す言葉と心情を対比させる(情景) ・ぼうくうごうをイメージさせる。前場面の眠りとくらべる。
	7	第4場面一人でかげおくりをするちいちゃんの様子や気持ちを想像し、第1場面と比べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・第4場面を音読する。 ・言葉や文から場面の様子を考える。 ・会話文の前後の言葉に着目して、人物の気持ちを想像する。 ・第1場面のかげおくりと比べる。 ・読みとったことが表れるように音読する。 	<p>読：会話や動作を表す言葉などをもとに、場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら読んでいます。(発言・ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子(明るい光、太陽、青い空)を前とくらべる。 ・1場面の文章を掲示し比べやすくする。
	8	戦争でちいちゃんのまわりから失われていったものを考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・第5場面を音読する。 ・第5場面と1から4場面を比べる ・戦争でちいちゃんの周りから失われていったものを順に考える。 	<p>読：場面を比べながら失われていったものを見つけている。(ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの読みとりの経過をふりかえる。
第3次音読で伝え合う	9	会話の前後の言葉を手がかりに様子を想像して音読することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・会話の前後の言葉を手がかりに様子を想像して音読する。 ・自分が読みたい場面から特に心に残る部分を書き出し、選んだ理由を交流する。 	<p>関：自分の読みたい場面を進んで見つけようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習してきた足跡を掲示しておく。 ・声の大きさ、調子、速さ、間など観点を示す。
	10	互いに音読を交流しながら、読み方を工夫することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ場所を音読練習する。 ・互いに聞き会い、どう読んだらよいか考える。 ・群読も入れながら読み味わう。 	<p>読：読み方を聞いて、言葉を根拠にどう読んだらよいか気づいている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・声に出すことで、人物の気持ちを寄り深く感じ取らせる。 ・互いに意見を言いながら読みを改善していく。
	11	音読発表会を行い、感想を交流することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の足跡を4年生に説明する。 ・音読を4年生と互いに発表しあい、感想や意見を交流する。 	<p>関：学んできた成果を進んで発表しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の足跡を掲示する。
	11	学習をふり返り、感想文をまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・初めの読みとりと比べどう読み深めてきたかふり返る。 ・読後の感想を文章にまとめ交流する。 	<p>書：読み深めてきたことをつないで文章にまとめている。</p>	